

## 2020年3月期 第2四半期連結決算概要

### 1. 連結の範囲

項目	2019年3月期	2019年9月期	増減
連結子会社数	71社	70社	*1 △1社
持分法適用会社数	25社	25社	0社
合計	96社	95社	△1社

\*1 UBEコールトレーディング

### 2. 業績概要

(注) 億円未満切捨て

#### (1) 経営成績

(単位: 億円)

項目	前第2四半期 (2018.4~2018.9)	当第2四半期 (2019.4~2019.9)	増減
売上高	3,482	3,350	△ 132
営業利益	150	167	17
金融収支	11	6	△ 5
持分法投資損益	28	9	△ 18
その他営業外損益	△ 2	△ 17	△ 14
経常利益	186	166	△ 20
特別損益	△ 10	△ 8	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	123	107	△ 15
1株当たり四半期純利益	117円60銭	106円77銭	△10円83銭
中間配当金	-	45円	45円
為替レート(円/\$)	110.3	108.6	△ 1.7
ナフサ価格(円/KL)	51,300	42,800	△ 8,500
豪州炭価格(円/t) <豪州炭(CIF)>	14,086	11,297	△ 2,789

#### [セグメント別 売上高・営業利益]

(単位: 億円)

項目	前第2四半期 (2018.4~2018.9)	当第2四半期 (2019.4~2019.9)	増減	
売上高	化学	1,546	1,464	△ 81
	建設資材	1,558	1,527	△ 30
	機械	432	420	△ 11
	その他	22	23	1
	調整額	△ 75	△ 84	△ 8
	合計	3,482	3,350	△ 132
営業利益	化学	82	83	0
	建設資材	55	67	11
	機械	13	16	3
	その他	2	2	△ 0
	調整額	△ 3	△ 2	1
	合計	150	167	17

(注)・2019年度より、医薬セグメントを化学セグメントへ、エネルギー・環境セグメントを建設資材セグメントへ統合しています。

それに伴い、2018年度実績についても比較のため、新しいセグメント区分に組替えて表示しています。

・営業利益の調整額は、セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計。

#### (2) 財政状態

(単位: 億円)

項目	前期末 (2019.3末)	当第2四半期末 (2019.9末)	増減
総資産	7,402	7,166	△ 236
有利子負債	1,872	1,814	△ 58
自己資本	3,295	3,303	8

## (3) キャッシュ・フローの状況

(単位: 億円)

項目	当第2四半期 (2019.4~2019.9)	税金等調整前四半期純利益 157、減価償却費 181、 運転資金の増減 88、法人税等の支払 △35 他	前第2四半期 (2018.4~2018.9)
営業活動CF	367		216
投資活動CF	△ 208	有形・無形固定資産の取得 △203 他	△ 221
財務活動CF	△ 162	有利子負債の増減 △73、配当金の支払 △88 他	△ 125

&lt;参考&gt;

## 3. 通期業績予想 (2019年10月28日発表)

(単位: 億円)

項目	2019年3月期	2020年3月期 <予想>	増減
売上高	7,301	7,050	△ 251
営業利益	445	420	△ 25
経常利益	478	410	△ 68
特別損益	△ 31	△ 30	1
親会社株主に帰属する当期純利益	324	275	△ 49
1株当たり当期純利益	312円36銭	272円10銭	△40円26銭
年間配当金	80円	90円	10円
為替レート (円/\$)	110.9	107.8	△ 3.1
ナフサ価格 (円/KL)	49,400	43,600	△ 5,800
豪州炭価格 (円/t) <豪州炭(CIF)>	13,863	10,943	△ 2,920

## [セグメント別 売上高・営業利益]

(単位: 億円)

項目	2019年3月期	2020年3月期 <予想>	増減	
売上高	化学	3,242	3,050	△ 192
	建設資材	3,210	3,200	△ 10
	機械	972	930	△ 42
	その他	49	45	△ 4
	調整額	△ 173	△ 175	△ 2
合計	7,301	7,050	△ 251	
営業利益	化学	246	205	△ 41
	建設資材	144	165	21
	機械	54	50	△ 4
	その他	8	7	△ 1
	調整額	△ 7	△ 7	0
合計	445	420	△ 25	

(注)・2019年度より、医薬セグメントを化学セグメントへ、エネルギー・環境セグメントを建設資材セグメントへ統合しています。

それに伴い、2018年度実績についても比較のため、新しいセグメント区分に組替えて表示しています。

・営業利益の調整額は、セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額の合計。

## [参考] 連結主要指標

(単位: 億円)

項目	前第2四半期 (2018.4~2018.9)	当第2四半期 (2019.4~2019.9)	2020年3月期 <予想>	2019年3月期
設備投資	170	180	500	417
減価償却費	178	181	370	364
研究開発費	59	65	140	121
事業利益	195	188	455	515
有利子負債残高	1,923	1,814	1,910	1,872
自己資本	3,225	3,303	3,420	3,295
総資産	7,344	7,166	7,700	7,402
D/Eレシオ (倍)	0.60	0.55	0.56	0.57
自己資本比率 (%)	43.9	46.1	44.4	44.5
売上高営業利益率 (%)	4.3	5.0	6.0	6.1
総資産事業利益率 (%)	-	-	6.0	6.9
自己資本当期純利益率 (%)	-	-	8.2	10.1
従業員数 (人)	11,016	11,152	11,200	11,010



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月1日

上場会社名 宇部興産株式会社 上場取引所 東 福  
 コード番号 4208 URL <http://www.ube.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 泉原 雅人  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 石川 博隆 TEL 03-5419-6116  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	335,062	△3.8	16,755	11.4	16,642	△11.0	10,790	△12.6
2019年3月期第2四半期	348,268	6.5	15,042	△33.5	18,696	△21.2	12,352	△21.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 9,123百万円 (△42.7%) 2019年3月期第2四半期 15,932百万円 (△31.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	106.77	106.44
2019年3月期第2四半期	117.60	117.22

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	716,679	354,756	46.1
2019年3月期	740,286	354,552	44.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 330,394百万円 2019年3月期 329,520百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2020年3月期	—	45.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	705,000	△3.4	42,000	△5.7	41,000	△14.3	27,500	△15.4	272.10	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	106,200,107株	2019年3月期	106,200,107株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	5,129,494株	2019年3月期	5,158,424株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	101,059,831株	2019年3月期2Q	105,036,651株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料及び添付資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因の変化により見通しと大きく異なる場合もありますことをご承知願います。そのような要因としては、主要市場の経済状況、製品の需給、原燃料価格、金利、為替相場などがあります。

※ 当社は、以下のとおり電話会議を開催する予定です。当日の説明内容及び質疑応答につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2019年11月1日（金）・・・アナリスト、機関投資家向け電話会議

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算の経営成績に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) セグメント別の説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

1. 当四半期決算の経営成績に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間においては、売上高は、カプロラクタム等の販売価格下落およびナイロン・石炭等の販売数量減少により減収となりましたが、営業利益は、合成ゴムのスプレッド改善、機能品等の販売数量の増加、および石炭等の原料価格下落の影響により増益となりました。営業外収益は、前期にあった持分法適用関連会社の事業統合による利益がなくなったことから、減少しました。

この結果、当社グループの連結業績は、次のとおりとなりました。

単位：億円

項目	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第2四半期①	3,350	167	166	107
前年同期②	3,482	150	186	123
差異①-②	△132	17	△20	△15
増減率	△3.8%	11.4%	△11.0%	△12.6%

(2) セグメント別の説明

(売上高)

単位：億円

セグメント	当第2四半期①	前年同期②	差異①-②	増減率
化学	1,464	1,546	△81	△5.3%
建設資材	1,527	1,558	△30	△2.0%
機械	420	432	△11	△2.8%
その他	23	22	1	4.5%
調整額	△84	△75	△8	—
合計	3,350	3,482	△132	△3.8%

(営業利益)

単位：億円

セグメント	当第2四半期①	前年同期②	差異①-②	増減率
化学	83	82	0	0.8%
建設資材	67	55	11	20.9%
機械	16	13	3	24.3%
その他	2	2	△0	△13.1%
調整額	△2	△3	1	—
合計	167	150	17	11.4%

### 化学 … 減収増益

#### ■ナイロン・ファイン事業

ラクタム事業は、中国市場の需要鈍化もあり販売価格が下落し販売数量も減少したことにより、減収となりました。

ナイロン事業は、ラクタム価格下落の影響に加え、主に中国市場の需要減退により販売数量が減少したことにより、減収となりました。

工業薬品事業は、アンモニア工場の隔年の定期修理がなく、生産量・出荷量ともに増加したことにより、増収となりました。

ファイン事業は、堅調な需要を背景に総じて販売価格が上昇したことにより、増収となりました。

ナイロン・ファイン事業全体としては、ラクタムとナイロンの影響が大きく、減収減益となりました。

#### ■合成ゴム事業は、タイヤ用途を中心に出荷が概ね堅調に推移する中で、主原料であるブタジエン価格が製品価格よりも下落しスプレッドが改善したことにより、減収増益となりました。

#### ■機能品事業

電池材料事業は、中国市場での競争激化および主要顧客における生産調整等の影響もあり販売数量が伸び悩んだことにより、減収となりました。

ポリイミド事業は、ディスプレイ向けCOFフィルムの販売数量が堅調に推移し、また中国市場での有機ELパネル向けワニスの需要が拡大し販売数量が増加したことにより、増収となりました。

機能品事業全体としては、総じて販売が堅調であったことから、増収増益となりました。

#### ■医薬事業は、自社医薬品・受託医薬品ともに顧客である製薬会社の販売が好調に推移したことおよびロイヤリティ収入が増加したことにより、増収増益となりました。

#### ■化学セグメント全体としては、原料価格の下落に応じた販売価格の修正等により、減収となりましたが、合成ゴム事業のスプレッド改善や機能品事業・医薬事業の拡販等により、増益となりました。

### 建設資材 … 減収増益

#### ■セメント・生コン事業は、国内需要が稼働日減少の影響もあり低調に推移したため、減収となりました。

#### ■カルシア・マグネシア事業は、鉄鋼・電力向けマグネシアなどの価格改定効果等により販売価格は上昇したものの景気悪化による販売数量減少の影響が大きく、減収となりました。

#### ■エネルギー事業は、石炭の販売数量の減少により減収となりました。

#### ■建設資材セグメント全体としては、セメント・生コンおよび石炭等の販売数量減少の影響はあるものの、原料である石炭価格下落の効果により、減収増益となりました。

### 機械 … 減収増益

#### ■米中貿易摩擦に端を発した景気減速が設備投資にも世界中で影響し、成形機事業、産機事業ともに製品の出荷が減少しましたが、サービス事業は堅調を維持しており、また製鋼事業での採算性改善もあり減収増益となりました。

### その他 … 増収減益

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,903	32,288
受取手形及び売掛金	171,611	146,036
商品及び製品	42,585	44,800
仕掛品	22,611	26,651
原材料及び貯蔵品	31,568	30,669
その他	15,020	12,230
貸倒引当金	△599	△472
流動資産合計	315,699	292,202
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	88,100	87,035
機械装置及び運搬具(純額)	143,335	135,506
土地	80,510	80,112
その他(純額)	19,371	27,689
有形固定資産合計	331,316	330,342
無形固定資産		
のれん	643	533
その他	6,463	7,081
無形固定資産合計	7,106	7,614
投資その他の資産		
投資有価証券	55,567	55,511
その他	31,063	31,446
貸倒引当金	△628	△624
投資その他の資産合計	86,002	86,333
固定資産合計	424,424	424,289
繰延資産	163	188
資産合計	740,286	716,679



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	102,223	89,645
短期借入金	51,371	46,424
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	4,106	4,065
賞与引当金	7,163	7,244
その他の引当金	1,298	1,127
その他	49,902	45,199
流動負債合計	226,063	193,704
固定負債		
社債	50,000	60,000
長期借入金	74,275	72,223
引当金	2,727	2,899
退職給付に係る負債	7,011	7,343
資産除去債務	1,884	1,899
その他	23,774	23,855
固定負債合計	159,671	168,219
負債合計	385,734	361,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	58,435	58,435
資本剰余金	40,355	40,346
利益剰余金	235,671	238,360
自己株式	△12,798	△12,724
株主資本合計	321,663	324,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,217	4,143
繰延ヘッジ損益	△5	△345
為替換算調整勘定	6,075	4,482
退職給付に係る調整累計額	△2,430	△2,303
その他の包括利益累計額合計	7,857	5,977
新株予約権	626	599
非支配株主持分	24,406	23,763
純資産合計	354,552	354,756
負債純資産合計	740,286	716,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	348,268	335,062
売上原価	291,741	276,263
売上総利益	56,527	58,799
販売費及び一般管理費	41,485	42,044
営業利益	15,042	16,755
営業外収益		
受取利息	135	171
受取配当金	1,572	944
受取賃貸料	539	540
負ののれん償却額	64	13
持分法による投資利益	2,802	995
為替差益	1,012	—
その他	1,201	960
営業外収益合計	7,325	3,623
営業外費用		
支払利息	564	506
賃貸費用	295	339
為替差損	—	182
その他	2,812	2,709
営業外費用合計	3,671	3,736
経常利益	18,696	16,642
特別利益		
固定資産売却益	37	9
投資有価証券売却益	15	48
特別利益合計	52	57
特別損失		
固定資産処分損	898	442
減損損失	154	180
投資有価証券評価損	8	291
特別損失合計	1,060	913
税金等調整前四半期純利益	17,688	15,786
法人税等	4,803	4,934
四半期純利益	12,885	10,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	533	62
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,352	10,790

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	12,885	10,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	294	△55
繰延ヘッジ損益	120	△340
為替換算調整勘定	2,607	△1,241
退職給付に係る調整額	200	110
持分法適用会社に対する持分相当額	△174	△203
その他の包括利益合計	3,047	△1,729
四半期包括利益	15,932	9,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,919	8,910
非支配株主に係る四半期包括利益	1,013	213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	17,688	15,786
減価償却費	17,899	18,186
減損損失	154	180
負ののれん償却額	△64	△13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34	△126
受取利息及び受取配当金	△1,707	△1,115
支払利息	564	506
持分法による投資損益 (△は益)	△2,802	△995
固定資産売却損益 (△は益)	1	139
売上債権の増減額 (△は増加)	7,893	24,757
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△11,206	△5,800
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,069	△10,106
その他	△3,792	△2,781
小計	26,663	38,618
利息及び配当金の受取額	2,669	2,205
利息の支払額	△625	△505
法人税等の支払額	△7,026	△3,567
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,681	36,751
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△22,298	△20,339
有形固定資産の売却による収入	699	438
投資有価証券の取得による支出	△47	△177
投資有価証券の売却による収入	5	88
関係会社株式の取得による支出	△296	△675
関係会社株式の売却による収入	37	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△164	△31
その他	△43	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,107	△20,815
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,116	△2,030
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	17,000	—
長期借入れによる収入	2,165	4,994
長期借入金の返済による支出	△15,367	△9,879
社債の発行による収入	—	9,955
社債の償還による支出	△10,010	△10,000
自己株式の取得による支出	△5	△3
配当金の支払額	△7,903	△8,074
非支配株主への配当金の支払額	△667	△770
連結の範囲の変更を伴わない 子会社株式の取得による支出	△430	—
その他	△424	△480
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,525	△16,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	368	△303
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,583	△654
現金及び現金同等物の期首残高	48,529	32,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,946	31,641

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化学	建設資材	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	154,191	149,961	42,544	1,572	348,268	-	348,268
セグメント間の内部 売上高又は振替高	422	5,845	663	665	7,595	△7,595	-
計	154,613	155,806	43,207	2,237	355,863	△7,595	348,268
セグメント利益 (営業利益)	8,247	5,597	1,353	244	15,441	△399	15,042

(注1) セグメント利益の調整額△399百万円には、セグメント間取引消去△45百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△354百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	化学	建設資材	機械	その他	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	146,025	146,651	40,827	1,559	335,062	-	335,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	405	6,097	1,188	779	8,469	△8,469	-
計	146,430	152,748	42,015	2,338	343,531	△8,469	335,062
セグメント利益 (営業利益)	8,314	6,768	1,682	212	16,976	△221	16,755

(注1) セグメント利益の調整額△221百万円には、セグメント間取引消去△71百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△150百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等です。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、経営体制を見直したことに伴い、従来の医薬セグメントを化学セグメントに統合、またエネルギー・環境セグメントを建設資材セグメントに統合いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。